

<熱中症事案報告書の作成方法>

熱中症事案の認定にあたっては、下記の2要件を満たすことが必要とされています。

- ① エネルギー消費量の多い運動を行っていること
- ② 高温・高熱の条件下にあること(単に気温の高低のみで判断せず、湿度や服装の状況等も含めて総合的に判断する)

熱中症事案報告書は、公務起因性の判断にあたり、どのくらいの運動(動作)をどういう環境でどれくらい行ったか、また、糖尿病、高血圧症、心疾患、腎不全等熱中症の発症に影響を与える疾病が影響しているか等について把握するために必要となる書類であり、被災職員が作成し、記名してください。

なお、作成にあたっては、次の事項を記載してください。

1 過去3年間程度の健康診断結果、人間ドック結果

2 持病(高血圧や糖尿病等)の有無、服薬の有無

服薬が有の場合は、薬剤名及び服用頻度・量を記載してください。

3 当日の服装

単に「作業服上下」というようなものではなく、材質、袖のあるなし等も含め記載してください。また、消防職員や警察職員など、装備を身につけている場合はそれらの重さ等も記載してください。可能であれば写真を添付してください。

4 当日の気温、湿度、風力(被災場所で計測していないようであれば、なるべく近い地点の気象観測記録)

5 発症前日から発症までの行動

発症前日から発症までなるべく詳しく時系列で整理してください。特に発症当日は、摂取した水分の量や運動量を可能な限り定量的に記載してください。

熱中症事案報告書

- 1 過去3年間程度の健康診断結果、人間ドック結果
別添のとおり
- 2 持病（高血圧や糖尿病等）の有無・服薬の有無
令和〇年〇月から、糖尿病のため〇〇病院に毎月受診をし、服薬治療を継続。
毎日朝食後にメトホルミン錠 500 mg、デベルザ錠 20 mg各1錠を服用。
- 3 当日の服装
半袖Tシャツ（ポリエステル50%、ナイロン50%）、夏用長袖シャツ（ポリエステル55%、綿45%）、夏用長ズボン（ポリエステル55%、綿45%）、作業用帽子（メッシュタイプ）、安全靴、ゴム手袋
- 4 当日の気温、湿度、風力
晴れ、気温：31.5℃、湿度：58%、風速：4.0m、風向：東（横浜観測所 11時）
- 5 発症前日から発症前の行動
<〇月〇日（〇）（発症前日）>
18時00分 退庁
19時00分 帰宅
19時30分 夕食（ご飯、みそ汁、焼き魚、サラダ、緑茶コップ1杯）
22時00分 入浴
23時30分 就寝
<〇月〇日（〇）（発症当日）>
6時00分 起床
6時30分 朝食（食パン2枚、目玉焼き、サラダ、ヨーグルト、コーヒー1杯）
メトホルミン錠 500 mg、デベルザ錠 20 mg 各1錠服用
7時15分 自宅出発
8時15分 出勤
8時30分 勤務開始
9時00分 〇〇作業開始
〇〇作業とは、～～（どのような場所で、どのような服装でどのような動作をどれくらいの時間行ったのか、詳しく記載してください。）
作業中にペットボトルのスポーツドリンク 500ml を飲む。
11時00分 めまい、吐き気等の症状が生じたため休憩室で休憩
11時30分 痙攣等の症状も生じてきたため救急要請し、〇〇病院に救急搬送

上記のとおり報告します。

令和〇年〇月〇日

〇〇市〇〇課

主事 神奈川 太郎